



2022年2月21日

各 位

会社名 株式会社 東 名  
 代表者名 代表取締役社長 山本 文彦  
 (コード番号：4439 東証・名証第一部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 関山 誠  
 (TEL 059-330-2151)

2022年8月期第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想  
及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年10月13日に公表いたしました2022年8月期第2四半期累計期間と通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年8月期第2四半期(累計)業績予想値の修正

## (1) 連結業績予想値の修正(2021年9月1日～2022年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,578	139	166	79	10.80
実績値(B)	7,973	△234	△193	△153	△20.95
増減額(B-A)	395	△373	△360	△233	
増減率(%)	5.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年8月期第2四半期)	5,995	221	245	158	21.57

## (2) 個別業績予想値の修正(2021年9月1日～2022年2月28日)

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,437	163	177	24.13
実績値(B)	7,826	△200	△42	△5.80
増減額(B-A)	389	△363	△219	
増減率(%)	5.2	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年8月期第2四半期)	5,777	224	149	20.32

## 2. 2022年8月期通期業績予想値の修正

### (1) 連結業績予想値の修正 (2021年9月1日～2022年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,719	626	682	443	60.41
今回修正予想 (B)	16,208	88	156	62	8.56
増減額 (B-A)	488	△538	△526	△380	
増減率 (%)	3.1	△86.0	△77.1	△85.8	
(ご参考) 前期実績 (2021年8月期)	13,027	392	452	277	37.76

### (2) 個別業績予想値の修正 (2021年9月1日～2022年8月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,429	636	513	69.96
今回修正予想 (B)	15,913	107	146	19.97
増減額 (B-A)	483	△529	△366	
増減率 (%)	3.1	△83.1	△71.5	
(ご参考) 前期実績 (2021年8月期)	12,505	349	208	28.48

## 3. 修正の理由

2022年8月期第2四半期累計期間においては、2021年11月頃から日本卸電力取引所（以下、JEPX）における電力取引価格が当社の想定以上に上昇し、直近においても当初の想定と乖離した高水準で推移しております。電力小売販売では、供給電力の一定程度をJEPXから調達しているため、売上原価が大きく増加すると見込み、各段階利益は当初予想を下回ると見込んでおります。

2022年8月期通期についても、JEPXからの電力調達価格が現行と同水準で推移すると仮定し、売上原価が増大すると見込み、各段階利益も当初予想を下回る見込みです。なお、電力調達価格のリスクを低減するため、電力低圧契約には、電力の調達価格に応じて売価を調整する「調達調整プラン」を順次導入し、当第3四半期会計期間において切り替えが完了すると見込んでおります。また、契約内容の変更ができない電力高圧契約については、契約先と協議を重ね途中解約で合意を得たため、当第3四半期会計期間中での解約を見込んでおり、それ以降では電力調達価格にともなうリスクは解消すると想定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当社グループの業績への影響は軽微であります。

また、個別業績予想の修正理由につきましては、連結業績予想と同様であります。

## 4. 連結業績予想の修正概要

### ■2022年8月期第2四半期(累計)業績予想値

#### ①売上高・売上原価

電力小売販売の保有契約数が順調に伸長しているため売上高395百万円（前回発表予想値比5.2%増）の増加となる見込みです。

また、電力小売販売に係る電力調達価格が想定よりも高水準で推移しているため、売上原価が746百万円（同13.5%増）の増加となる見込みです。

②営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

上記①に記載のとおり、売上原価の増加にともない、営業損失234百万円(前回発表予想値は営業利益139百万円)、経常損失193百万円(前回発表予想値は経常利益166百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失153百万円(前回発表予想値は親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円)となる見込みです。

■2022年8月期通期業績予想値

①売上高・売上原価

第2四半期累計期間までの電力小売販売の好調が継続すると想定し、売上高488百万円(前回発表予想値比3.1%増)の増加となる見込みです。

また、電力小売販売に係る電力調達価格を現行と同水準と仮定し、売上原価が832百万円(同7.4%増)の増加となる見込みです。

②営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

上記①に記載のとおり、売上原価の増加に加え、新規顧客獲得に伴う販売費及び一般管理費が195百万円増加し、営業利益88百万円(同86.0%減)、経常利益156百万円(同77.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益62百万円(同85.8%減)となる見込みです。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上